

平成30年6月12日(火) 12946号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
大阪市北区天満 2-12-3
ウィレージリバー南森町 3階 E号
TEL(06)6353-7831 (代表)
FAX(06)6353-7832

東京支社 〒140-0001
東京都品川区北品川 1-9-7
トップルーム品川 1015
TEL(03)6869-9983 (代表)

E-mail info@nikkankinzoku.co.jp

購読料 6ヵ月 37,800円(税込)
3ヵ月 19,440円(税込)

三菱マテリアル

JIS不適合の銅スラグ出荷

JIS認証取り消し処分

三菱マテリアルは、同社直島精錬所で製造された銅スラグの骨材一部製品が日本工業規格(JIS)に適合しないまま出荷されていたと発表した。一般財団法人日本品質保証機構(JQA)が5月に行った臨時審査で問題を指摘。JQAは、同社の銅スラグ骨材のJIS認証を6月8日付で取り消した。

対象製品の認証番号はJQ0708004、JIS規格はJIS A 5011-3、名称は、コンクリート用スラグ骨材-第3部：銅スラグ骨材。

同社直島精錬所では、銅スラグ骨材の試験成績書へのデータ転記を行った際、鉛の溶出量でJIS規格外のデータを規格内の値として記載し、JIS製品として出荷していた。また、試験の結果、一部の粒度がJIS規格外であったにもかかわらず、チェック時に見落としJIS製品として出荷していた。

銅スラグ骨材の再試験では、2回行うべきところを1回で鉛やひ素、カドミウムの含有量と溶出量がJIS規格内であると判断し出荷していたほか、JISで定められた方法に則っていない方法で算出した粒度や粗粒率を記載、JIS製品として出荷していた。

同社は、子会社のデータ改ざん問題を受け、臨時品質検査を実施。その中で直島精錬所の問題が発覚した。ただ、外部には公表せず、4月23日と27日にJQAに報告を行い、JQAの臨時審査で詳細な事実関係が判明した。

同社は、直島精錬所の問題について、データの転記ミスやチェックミスによるものと説明した。JIS取り消し処分については、「改めて品質管理体制の改善・強化を迅速に実施し、再発防止に努める」とコメントした。

同社は11日、経営責任を明確にするとして竹内章社長の辞任を発表した。竹内社長は代表権のない会長に、後任には小野直樹・代表取締役副社長執行役員が就任する。6月22日開催の株主総会の承認とその後の取締役会の決議により小野新社長体制となる。

また、担当役員の鈴木康信・金属事業カンパニープレジデント(取締役専務執行役員)が7月から3か月間役員報酬の30%を、酒井哲郎・同カンパニーバイスプレジデントが同じく7月から3か月間役員報酬の10%をそれぞれ返上した。同社は、直島精錬所長を6月16日付で更迭、調査結果を踏まえて他の関係者も処分する方針。

1~2月の世界銅需給

中国・チリで生産増強

11.0万トンの供給余剰に

国際銅研究会(ICSG)はこのほど、2018年1~2月の世界の銅需給動向(推定値)をまとめた。銅地金は生産量(二次スクラップ含む)が約387万9,000トン、消費量は約376万9,000トンで、差し引き11万トンの供給余剰だったとしている。

1~2月の鉱山生産量は325万3,000トンで、前年同期比15万トン(4.8%)増加。生産能力に対する稼働率は81.9%で、昨年同期から2.2ポイント上昇した。チリが13.5%増加し、昨年同期にエスコンディーダ鉱山で発生したストライキからの回復傾向が続いた。このほか、インドネシアは、昨年同期の鉱石輸出の一時規制の要因がなくなったことから、40.0%の大幅増となった。

銅地金生産量(二次スクラップ含む)は、昨年同期の

18年1~2月の世界銅需給(単位:万トン)

	18年2月	18年1~2月	18年1~2月
鉱山生産量	156.1	325.3	310.3
銅地金生産量	186.2	387.9	375.5
銅地金見掛け消費量	177.6	376.9	363.0
生産量-消費量	8.6	11.0	12.5

377万5,000トンから12万4,000トン(3.3%)増。中国が3.5%、チリが5.2%それぞれ伸びた。中国は、生産能力の拡大が継続、チリは昨年のストライキの影響もあり、比較的高い伸び幅となった。稼働率は86.9%で、前年同期から1.5ポイント上昇した。

銅地金の見掛け消費量は前年同期の363万トンから13万9,000トン(3.9%)増えた。消費量が最大の中国は、見かけ消費量が9.2%増。同時期の銅地金輸入量は8%のプラスだった。このほか、インドや欧州連合(EU)で増加した。

住友電工

汚泥分離を効果的に実現

簡易型ポアフロンMBR装置開発

住友電気工業（井上治）は、既存の養豚用浄化槽に外付けができ、畜産排水の汚泥を効果的に分離する「簡易型ポアフロンMBR」装置を開発した。膜分離活性汚泥法（MBR）を採用し、排水処理施設の設置面積の大幅な削減を実現した。

同装置の特長は、◇優れた親水性を付与したPTFE（四フッ化エチレン樹脂）製の中空糸膜を使用していることで、汚れにくく安定した処理が可能◇PTFE製中空糸膜は高強度で膜破断リスクが低く、長寿命が可能◇豚毛などの夾雑物が詰まりにくく、清掃が容易◇外付けにつき、既存設備の改造が不要、設置工事の工期を短縮化一一。

有機成分を含む畜産排水等の処理には、これまで活



外付け式の簡易型ポアフロンMBR装置
写真提供：畜産環境整備機構



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稻荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

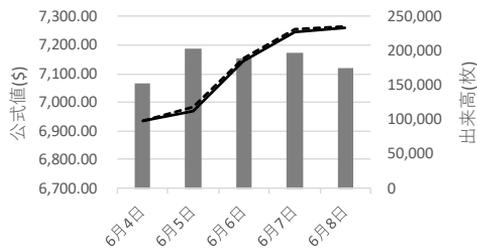
性汚泥法と称する方法が採用されているが、処理水とともに汚泥が流出する等、維持管理が難しいという課題がある。一方、活性汚泥槽内にろ過膜モジュールを沈め、汚泥などを分離する膜分離活性汚泥法（MBR）も採用されているものの、膜モジュール設置のための改造工事や、汚染度の高い排水の運転管理が難しく、普及が進んでいない。

住友電工は、一般財団法人畜産環境整備機構の畜産環境技術研究所と共同で、ケース内に多数の膜を束ねて収納したケーシング型のポアフロン水処理膜モジュールを使用する方法に着目。既存設備をそのまま使用でき、装置構造がシンプルな簡易型ポアフロンMBR装置を開発した。今年9月から畜産農家等一般向けに販売を開始する予定。

LME公式値週間推移

6月4日～6月8日（現地）

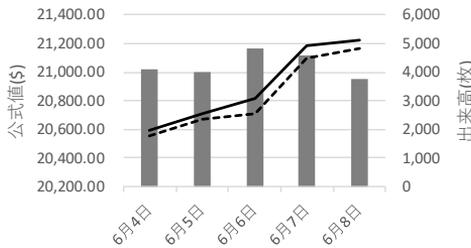
LME銅AG



	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日
出来高	152,416	202,987	189,677	197,025	175,537
直物	6,934.00	6,970.00	7,146.50	7,245.00	7,262.00
先物	6,937.50	6,984.50	7,152.50	7,258.00	7,267.00

出来高 直物 先物

LME錫HG



	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日
出来高	4,125	4,005	4,847	4,595	3,746
直物	20,592.50	20,712.50	20,812.50	21,187.50	21,227.50
先物	20,552.50	20,672.50	20,712.50	21,102.50	21,162.50

出来高 直物 先物

5月の銅マーケットレポート及び6月の見通し (3)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎



【電線】

前年比+0.6%の5万6900t。うち国内+0.5%、輸出が+5.3%。

通信-8.7%、電力-12.7%、電気機械+1.1%、自動車+6.1%、建設電販+2.8%、その他内需-7%。

【輸出】

電気銅輸出が-20.6%の4万4497t。銅スクラップは+16.3%の1万8039t。

【輸入】

電気銅が-42%の1712t。スクラップは+9.1%の10479t。

【見通し】

- ・自動車は生産が+0.2%。
国内販売台数が前年比-0.6%。小幅ながら生産が3カ月ぶりプラス、販売が7カ月ぶり再びマイナス。販売が増加に転ずるかどうかが今後に注目。
 - ・住宅着工の動向については、前年同月比で+0.3%と微増ではあるが10か月連続プラス。
増加傾向が続くのかどうか今後の動向に注目
 - ・伸銅品は、2カ月連続減少、前年比-0.6%。
需要の多い銅条は、24カ月ぶり変わらず、黄銅棒は3カ月ぶりプラス、輸出は4カ月連続マイナス。
自動車の伸び悩みが続く中、伸銅品生産も減少しており今後の動向に注視。
 - ・電線は、前年比+0.6%の5万6900t。
輸出が+5.3%。
需要の多い自動車、建設電販が増加。
それぞれ、+6.1%、+2.8%に。建設電販は3カ月振りプラスに！
 - ・銅輸出は、地金は内需用途から減少。輸出は円安から増加。
 - ・銅輸入は、大幅な円安から地金は減少。代わりにスクラップは増加。
- 【スクラップ需給予想】
流通在庫は前月半ばごろ建値80万台で安定した事もありほとんどでないのではないかと。

需要面に関しては足元の生産状況は足踏み状態にあるが比較的良好。

ただメーカーが引き続き人手不足問題から地金を優先に使用していることから品費の低いスクラップに関しては購買意欲は薄く均衡状態になるのではないかと。

【価格・為替予想】

今月は6月12日開催予定の米朝会談及び鉱山ストに左右される。米朝会談に関しては、二転三転したうえでの開催であり北朝鮮がトランプ大統領への脅しで失敗した後での開催であることから脅しが通用しないことは承知の上、大きな前進があるのではないかと。

鉱山ストに関しては5%シェアの世界最大チリ・エスコンディダ銅山での緊張をはらんだ労使交渉の再開が行われているが労使交渉は行き詰まる可能性が高いとの報もあり供給不安は続くのではないかと。

それらを踏まえた6月の銅価格は、米朝会談や鉱山ストが問題なく終了した場合、先月高値の7,000ドルを予測。いずれかの場合は6,800ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合先月安値の6,700ドル。

為替は、上記材料から、ドル円値は108円~110円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては760~810円程度と予測している。

【「5月の銅マーケットレポート及び6月の見通し」終了】

亜鉛くず 現金高値買受け
亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

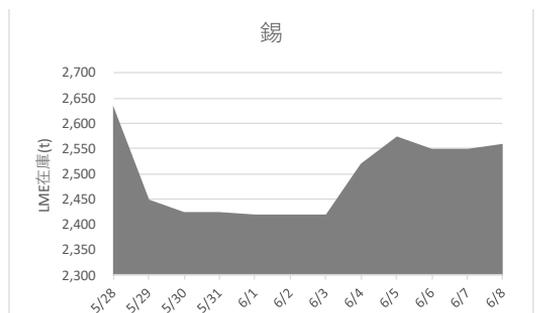
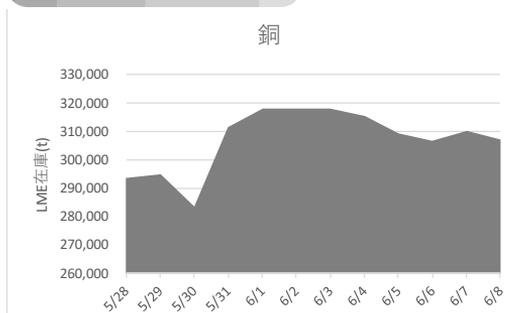
代表取締役 星山えり

〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974

LME認定倉庫在庫量推移 5月28日~6月8日 (現地)



故銅市況

前週末9日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の7,245.50ドルより17.00ドル高の7,262.50ドル。この日の直物後場買値は、前日の7,335.00ドルより0.50ドル安の7,334.50ドル。カーブ取引は前日の7,332.00ドル～7,332.50ドルより20.00ドル安の7,312.00ドル～7,312.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（6月限）は、前日の326.80セントより2.50セント高の329.30セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（6月限）は前日の5万3,630元より90元安の5万3,540元。

週明け11日の東京為替市場TTSレートは、前週末の110.87円より0.46円の円高ドル安の1ドル＝110.41円。NYカーブLME先物比は23.00ドル安。9日に入電したLME銅相場のセツルメントは7,262.50ドル。この値と11日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末から横ばいの84万1,000円。この日、電気銅建値は84万円に据え置かれた。

為替動向

11日の東京外国為替市場で円相場は1ドル＝109円前半までの取引となっている。午前9時の気配値は1ドル＝109.44円～109.47円、前週8日の17時時点に比べ0.03円の円安・ドル高。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が686～691、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは667～672、並銅は606～611、込銅（高品位＝約97%）は566、セパは562～567。コーベルは要り用筋で553、それ以外は545ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋548、それ以外531～556どころの値頃。並青銅鋳物削粉は524～529どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が689～694、上銅新くずが656～676、普通上銅が623～633、2号銅線が629～639、並銅が594～595、込銅（90-93%）が553～520、下銅が390～440、セパが529～539、コーベルが485～525、黄銅棒地が541～546、黄銅削粉が489～536、黄銅ラジが417～425、交叉ラジが397～408、黄銅銅鋳物が406～413、送りが225～240、上青銅鋳物が534～550、並青銅鋳物が526～539、上青銅鋳物削粉が531～550、並青銅鋳物削粉が524～528どころ。

8日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.14円の円高・ドル安、1ドル＝109.51円～109.61円で取引を終了した。

主要国首脳会議(G7サミット)で、貿易問題を巡り米トランプ大統領と他の6か国の首脳が対立。トランプ大統領が首脳宣言を受け入れない考えを表明、週明けの東京市場では米国の保護主義への懸念が円買いを誘った。ただ、市場では「G7の足並みの乱れはおおむね想定範囲内」との見方もあり、相場への影響は限定的だった。また、12日には米朝首脳会談が予定されており、北朝鮮の核問題をめぐる両首脳の協議の行方を見守りたいとの雰囲気が強まった。円は朝方に109.38円まで上昇した後、じわじわと下げる展開となった。

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

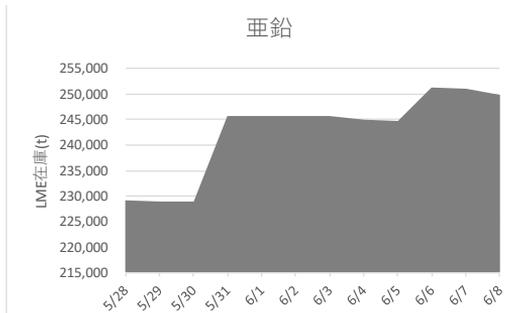
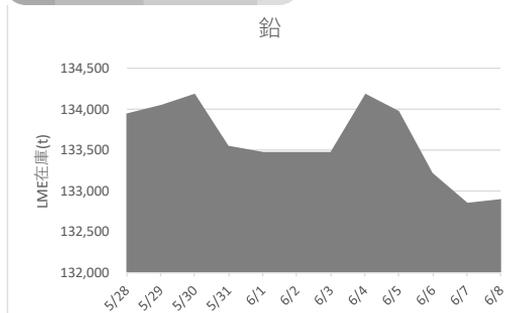
TEL 06-6561-3759(代表)



定期購読 6か月 37,800円
外電配信 6か月 45,300円
(消費税込み)

株式会社日刊金属

LME認定倉庫在庫量推移 5月28日～6月8日（現地）





LME銅は5営業日の続伸 伸びは小幅
カーブ取引は反落、7万3,000ドル台は維持
COMEX銅相場は続伸、6営業日 SHFE相場は反落
LME非鉄相場は概して地合が軟化

9日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の7,245.00ドルより17.00ドル高の7,262.00ドル、この週6.58%の上伸。3か月物も、前日の7,258.00ドルより9.00ドル高の7,267.00ドル、この週6.48%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の31万トンより約3,000トン減のおよそ30万7,000トン、この週3.42%の減。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（6月限）は、前日の326.80セントより2.50セント高の329.30セント、この週20.15セントの上伸。カーブ取引は、前日の7,332.00ドル～7,332.50ドルより20.00ドル安の7,312.00ドル～7,312.50ドル、この週6.05%～6.04%の上伸。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（6月限）は、前日の5万3,630元より90元安の5万3,540元、この週4.53%の上伸。

錫は続伸

LME錫相場の直物は、前日の2万1,187.50ドルより40.00ドル高の2万1,227.50ドル、この週2.73%の上伸。3か月物も、前日の2万1,102.50ドルより60.00ドル高の2万1,162.50ドル、この週2.59%の上伸。

鉛は反落

LME鉛相場の直物は、前日の2,544.75ドルより77.75ドル安の2,467.00ドル、この週1.56%の上伸。3か月物も、前日の2,550.00ドルより74.50ドル安の2,475.50ドル、この週1.37%の上伸。

亜鉛も反落

LME亜鉛相場の直物は、前日の3,214.75ドルより31.75ドル安の3,183.00ドル、この週3.05%の上伸。3か月物も、前日の3,191.25ドルより25.00ドル安の3,166.25ドル、この週2.53%の上伸。

アルミも反落 アルミ合金も反落 北米特殊アルミ合金も反落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,330.75ドルより43.50ドル安の2,287.25ドル、この週0.74%の上伸。3か月物も、前日の2,336.50ドルより37.25ドル安の2,299.25ドル、この週1.27%の上伸。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,945.00ドルより220.00ドル安の1,725.00ドル、この週2.37%の上伸。3か月物も、前日の1,905.00ドルより175.00ドル安の1,730.00ドル、この週2.37%の上伸。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値
 1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(6月前半)
 2S=208円～216円、63S=205円～209円、アルミホイール(1P)=198円～203円、ビス付サッシ=151円～156円、エンジンコロ=158円～160円、込合金(機械铸件)=154円～156円、缶プレス(ソフト)=191円～136円。

関西地区(6月前半)
 2S=203円～211円、63S=201円～205円、52S=213円～217円、印刷版=204円～209円、アルミホイール(1P)=187円～192円、ベースメタル=211円～216円、機械铸件=158円～163円、ダライ粉=130円～135円、ビス付サッシ=153円～158円、缶プレス=139円～144円。

上伸。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,715.25ドルより12.75ドル安の1,702.50ドル、この週2.74%の下落。3か月物も、前日の1,757.50ドルより17.50ドル安の1,740.00ドル、この週3.06%の下落。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ118万トンより約5,000トン減のおよそ117万5,000トン、この週2.58%の減。

ニッケルも反落

LMEニッケル相場の直物は、前日の15,747.50ドルより510.00ドル安の15,237.50ドル、この週0.61%の上伸。3か月物も、前日の15,757.50ドルより455.00ドル安の15,302.50ドル、この週0.74%の上伸。

アルミニウム地金
 アルミニウム原料
 熟練ポット炉技術で歩留まり UP!

井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮
 〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407
 ☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

LME公式値（単位：ドル）／6月8日（現地）

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公式値	7,262.00	21,227.50	2,467.00	3,183.00	2,287.25	1,725.00	1,702.50	15,237.50
	前営業日比	17.00	40.00	▲ 77.75	▲ 31.75	▲ 43.50	▲ 220.00	▲ 12.75	▲ 510.00
	週間増減比	6.58%	2.73%	1.56%	3.05%	0.74%	2.37%	▲ 2.74%	0.61%
先物	公式値	7,267.00	21,162.50	2,475.50	3,166.25	2,299.25	1,730.00	1,740.00	15,302.50
	前営業日比	9.00	60.00	▲ 74.50	▲ 25.00	▲ 37.25	▲ 175.00	▲ 17.50	▲ 455.00
	週間増減比	6.48%	2.59%	1.37%	2.53%	1.27%	2.37%	▲ 3.06%	0.74%

海外非鉄金属相場

(6月9日 入電・現地 6月8日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: Item, Buy, Sell, Buy, Sell. Rows include Copper (銅), Tin (錫), Lead (鉛), Zinc (亜鉛), Aluminum (アルミ), Aluminum Alloy (アルミ合金), and Nickel (ニッケル).

Table for NY COMEX market with columns: Item, Gold (金), Silver (銀), Platinum (プラチナ), Palladium (パラジウム). Includes sub-sections for NY COMEX market and calculation prices.

Table for LME (London Metal Exchange) with columns: Item, Copper (銅), Tin (錫), Lead (鉛), Zinc (亜鉛), Aluminum (アルミ), Nickel (ニッケル).

Table for Free Market (フリー・マーケット) and NY Market (NY相場) with columns: Item, Price, and other market indicators.

Table for K L T M Tin (K L T M 錫) with columns: Item, Price (8日), Price (11日).

Table for LME Inventory (LME在庫) with columns: Item, Inventory, Change.

Table for COMEX Copper Inventory (COMEX銅在庫) and Shanghai Inventory (上海在庫).

Table for NY Copper (NYカーブ) with columns: Item, Price, and other market indicators.

Table for Shanghai Market (上海相場) with columns: Item, Price, and other market indicators.

Table for Replacement Market (為替相場) with columns: Item, LME (円ベース/キロ), COMEX, Shanghai, and other market indicators.

非鉄金属製品相場

(6月11日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	1060	1090	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	1070	1100	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1230	1290	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1250	1270	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	930	950	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	1040	1080	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	1050	1070	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	1120	1150	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	1040	1090	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1320	1310	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	930	950	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	950	950	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	1100	1150	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1480	1420	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1475	1475	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	750	750	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	790	780			
四角棒	820	810	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	800	790	白金(グラム)	◎ 3547	
ネーバル	890	890	パラジウム(グラム)	◆ 3947	
高力	890	890	金(グラム)	◆ 4979	
黄銅線6ミリ	1125	1155	銀(キログラム)	66740	
黄銅平角線ロール仕上	1330	1370			
黄銅条1.5×100	915	945	レアメタル輸入価格	4月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1970	1920	金属ケイ素(99.99%未満)	247	
〃 バネ用0.3ミリ	2200	2140	モリブデン酸化物	2287	
リン青銅棒25ミリ	2240	2220	タンタル	54055	
リン青銅線3ミリ	2420	2370	マグネシウム	252	
洋白板一般用1.0ミリ	2790	2720	コバルト	8930	
〃 バネ用1.0ミリ	2990	2930	インジウム	32098	

合金鉄	4月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	143
〃 その他	-
フェロシリコン55%以上	166
フェロクロム4%以上炭素含有	125.7
フェロモリブデン純分60%以上	2024
フェロバナジウム	5110
フェロニッケル33%未満	369.5
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金	6月1日改定	銅合金地金	6月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪 東京
1種	2800	BC 1種	855 -
2種	2730	2種	1030 -
3種	2650	3種	1075 -
4種	2340	6種	915 -
5種	2270	7種	950 -
7種	925	YBSC 3種	765 -
8種	830	LBC 3種	1040 -
9種	750	PBC 2種	1100 -

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(6月11日調べ)		インジウム大口(99.99%)		45,000 ~ 49,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1号銅線	734	735	電気銅	◎ 811	◎ 806	◎ 813	◎ 808	山元建値 電気銅	840(7) 金 4601(11)
2号銅線	672		電気亜鉛	385	380	385	380	() 実施日 電気鉛	339(7) 銀 60,420(11)
上銅(新切)	704	707	蒸留亜鉛	376	371	376	371	電気亜鉛	403(6) 錫(99.99%) 3,700(1)
雑ナゲット	644	648	ダイカスト亜鉛2種	315	309	315	309		
並銅	655	655	再生亜鉛(98%)	285	280	285	280		
下銅	630	626	電気鉛	319	314	319	314		
銅削粉	631	630	再生鉛1号	299	292	299	292		
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	303	288	303	288		
新切黄銅セバ	565	581	錫1号	◎ 2500	◎ 2450	◎ 2500	◎ 2450		
コーペル	541	551	アンチモン	1100	1050	1100	1050		
黄銅棒地	543	548	ニッケル(メッキ用)	◎ 1950	◎ 1900	◎ 1950	◎ 1900		
黄銅削粉	537	544	コバルト	11400	11100	11400	11100		
並黄銅	476	457	セレニウム	6100	5900	6100	5900		
黄銅ラジエター	426	407	ビスマス	1450	1350	1450	1350		
交叉ラジエター	429	394	カドミウム	500	450	500	450		
黄銅鑄物	478		水銀	1800	1700	1800	1700		
山送り	283		アルミ地金99.70%	◆ 286	◆ 282	◆ 288	◆ 284		
上青銅鑄物	583		アルミ二次地金99%	217	212	217	212		
並青銅鑄物	569	570	〃 90%	209	204	209	204		
上青銅鑄物削粉	574	564	アルミ二次合金ADC12	319	314	322	317		
並青銅鑄物削粉	561	554	鑄物用 C2BS	344	339	346	341		
新切リン青銅(伸銅)		732	青銅合金地金3種	1065	1055	1100	1090		
〃 (鑄物)	711		〃 6種	915	905	925	915		
リン青銅削粉	612	600	ハンダ錫60%	1930	1900	1950	1900		
新切洋白(電子材)	612	596	〃 50%	1710	1650	1720	1670		
新切亜鉛	163	163	〃 40%	1540	1480	1500	1450		
ダイカストくず	151	151	減摩合金2種	2770	2740	2775	2745		
亜鉛ドロス	149	139	〃 4種	2375	2350	2380	2350		
上鉛	137	135	〃 7種	950	900	950	900		
電池巢鉛ケース込	60	57	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		70	70		
活字鉛	132	129		〃 ダライ粉		55	55		
新切アルミ1級	174	177		13クローム 新切		18	18		
新切サッシ1級	173	176		ハイス 9種		130	130		
新切合金1級	165	168		〃 ダライ粉		—	—		
機械鑄物1級	125	125							
ビス付サッシP	112	115							
合金削粉P	103	103							
込ガラP	93	95							
カン・バラ	86	90							